

## 塵芥収集車のリコールについて

平成18年 2月28日

平成18年2月28日、富士重工業株式会社より、国土交通省に塵芥収集車のリコールの届け出をいたしました。

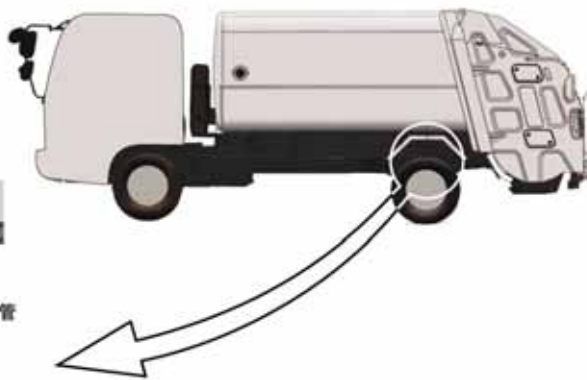
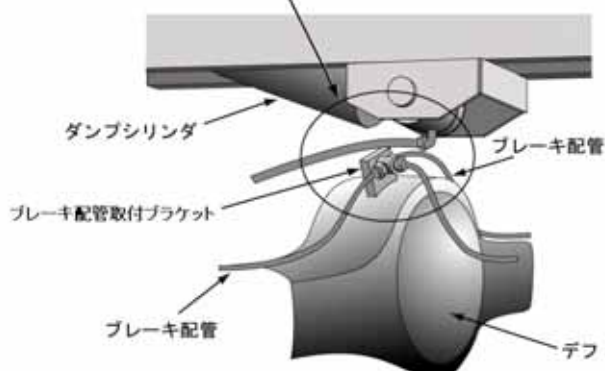
リコール届出番号	1625	リコール開始日	平成18年 3月 1日
不具合の部位(部品名)	制動装置(ブレーキ配管)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	塵芥車に改造した車両において、ダンプ装置のシリンダの取付位置が不適切なため、積載状態で段差の乗り越え等車体が大きく沈んだ際に、リヤデフ上部のブレーキ配管取付ブラケット、又はブレーキ配管及び取付ブラケットがダンプのシリンダと干渉するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該ブレーキ配管が損傷し、最悪の場合、ブレーキ液が漏れて制動力が低下するおそれがある。		
改善措置の内容	<p>全車両、型式、車台番号及びABSの有無に応じて以下の措置を行う。</p> <p>①ブレーキ配管取付ブラケットの上部を削る。</p> <p>②ブレーキ配管及びブレーキ配管取付ブラケットを対策品に交換する。</p> <p>③ブレーキ配管及びブレーキ配管取付ブラケットを対策品に交換し、ABS配線の取り回しを変更する。</p> <p>④ダンプ装置のシリンダを対策品に交換する。なお、ブレーキ配管又はブレーキ配管取付ブラケットが損傷している場合には、それぞれ新品と交換する。</p>		
不具合件数	4件	事故の有無	無し
発見の動機	市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用者:ダイレクトメールまたは直接訪問して通知する。</li> <li>・自動車分解整備事業者:ユーザーをすべて把握しているため、周知のための措置は特にとらない。</li> <li>・改善実施済車には、後面ガラス左下にNo. 1625のステッカーを貼付する。</li> </ul>		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
いすゞ	KK-FRR33D4S	フォワード	FRR33D4S7000038 平成12年 3月29日	1	②
	KK-FRR33E4S		FRR33E4S7000066 平成14年 8月 3日	1	②
	KK-FRR33G4		FRR33G47000600～FRR33G47000651 平成12年11月14日～平成13年3月14日	2	③
	KK-FRR35C3S		FRR35C3S7000012～FRR35C3S7001996 平成11年8月25日～平成16年2月23日	11	②
	KK-FRR35D3S		FRR35D3S7000007 平成11年11月23日	1	②
	KK-FRR35D4		FRR35D47000619～FRR35D47001269 平成12年4月20日～平成15年1月14日	8	②
			FRR35D47000260～FRR35D47001316 平成11年10月3日～平成15年3月3日	4	③

車名	型 式	通称名	リコール対象車の車台番号 の範囲及び製作期間	リコール対 象車の台数	備 考
いすゞ	KK-FRR35D4S	フォー ド	FRR35D4S7000012～FRR35D4S7000370 平成11年8月7日～平成15年1月22日	21	②
	KK-FRR35E3S		FRR35E3S7000008～FRR35E3S7000128 平成11年10月20日～平成16年4月15日	16	②
	KK-FRR35E4S		FRR35E4S7000065～FRR35E4S7001279 平成12年2月8日～平成16年3月23日	17	②
			FRR35E4S7001201～FRR35E4S7001306 平成16年3月3日～平成16年5月28日	5	③
	KK-FRR35G4		FRR35G47000246～FRR35G47000964 平成11年10月23日～平成14年3月29日	13	③
	KK-FRR35H4S		FRR35H4S7000090 平成14年 3月28日	1	②
	KK-FSR33G4		FSR33G47000198～FSR33G47000311 平成12年 7月14日～平成13年3月23日	3	③
	KK-NRR35C3		NRR35C37002091 平成13年11月28日	1	②
	KK-NRR35C4		NRR35C47000451 平成12年 1月21日	1	②
	KK-NRR35D3		NRR35D37000006 平成11年10月 5日	1	②
	KK-NRR35E3		NRR35E37000082 平成13年 8月21日	1	②
	KK-NRR35E4		NRR35E47000169 平成13年11月23日	1	②
			NRR35E47000313 平成16年2月27日	1	④
	KL-FSR33H4R		FSR33H43000412 平成13年12月25日	1	②
	PB-FRR35C3S		FRR35C3S7003346 平成16年12月22日	1	①
	PB-NRR35C3		NRR35C37003437 平成16年7月23日	1	③
PB-NRR35E3	NRR35E37000206 平成17年1月25日	1	④		
	(計21型式)	(計1車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成11年8月7日～平成17年1月25日	(計114台)	

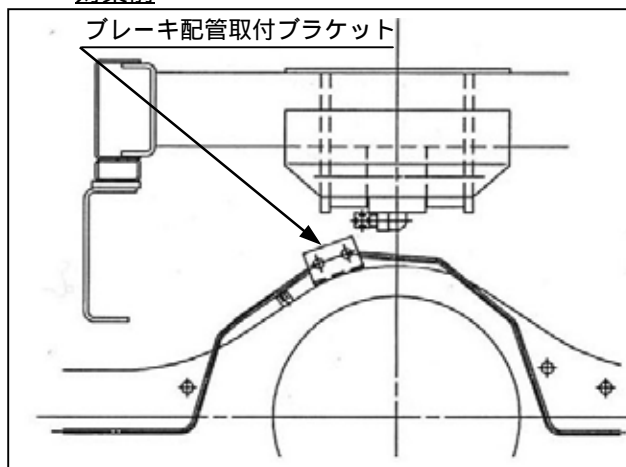
# 改善箇所説明図

## 基準不適合発生箇所

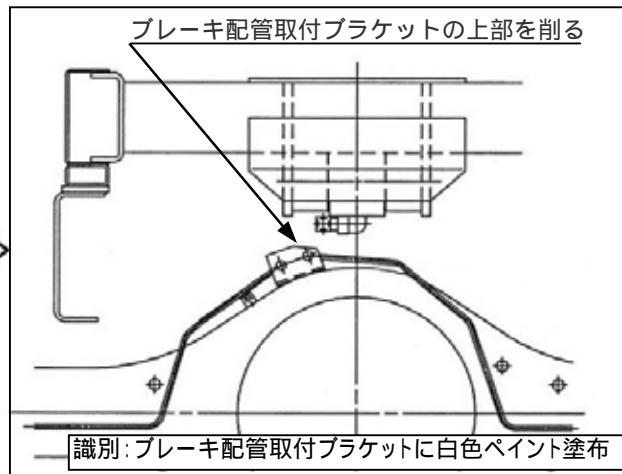


塵芥車に改造した車両において、ダンプ装置のシリンダの取付位置が不適切なため、積載状態で段差の乗り越え等車体が大きく沈んだ際に、リヤデフ上部のブレーキ配管取付ブラケット、又はブレーキ配管及び取付ブラケットがダンプのシリンダと干渉するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該ブレーキ配管が損傷し、最悪の場合、ブレーキ液が漏れて制動力が低下するおそれがある。

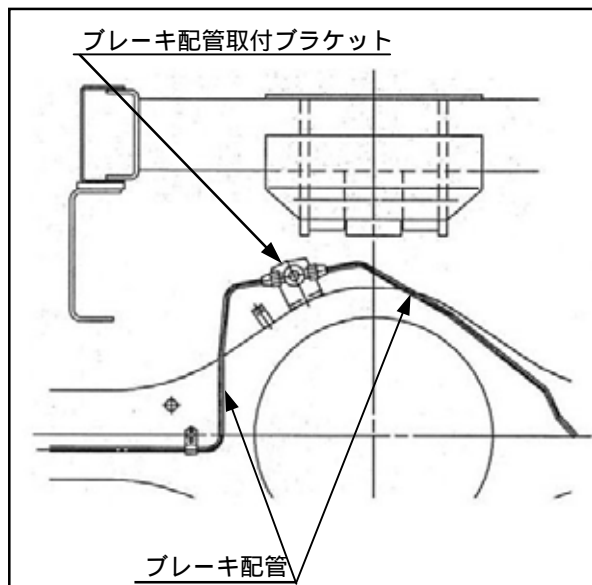
### 対策前



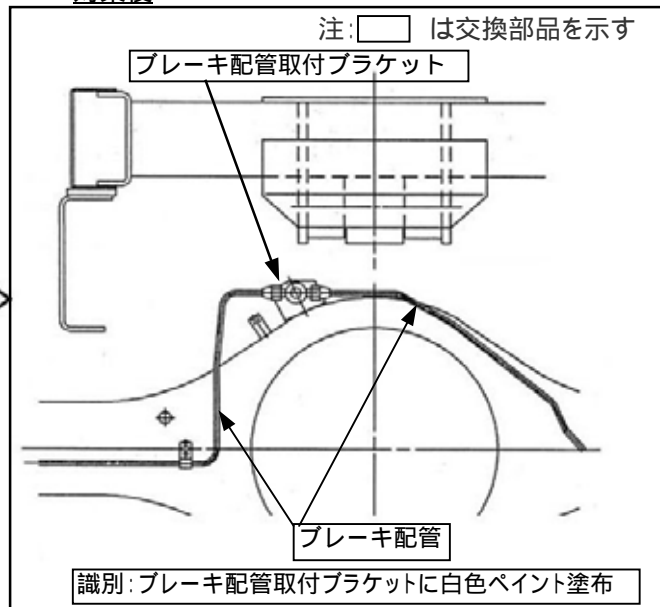
### 対策後



### 対策前

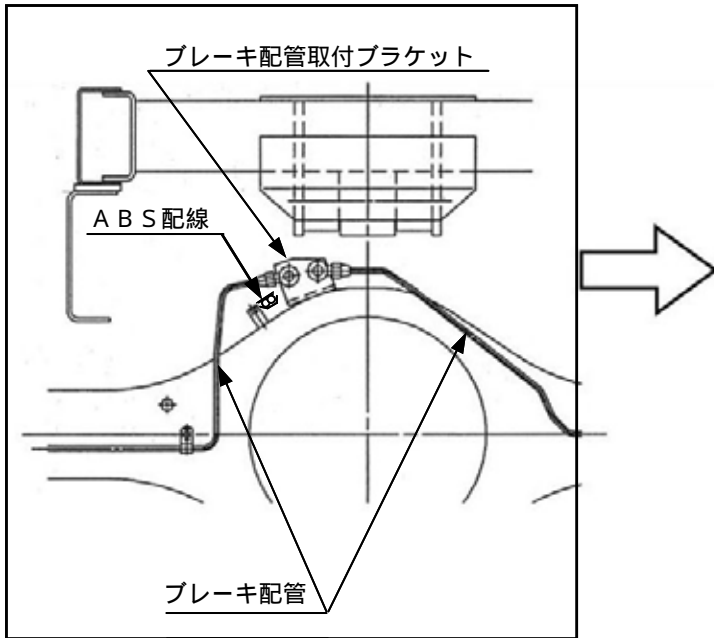


### 対策後

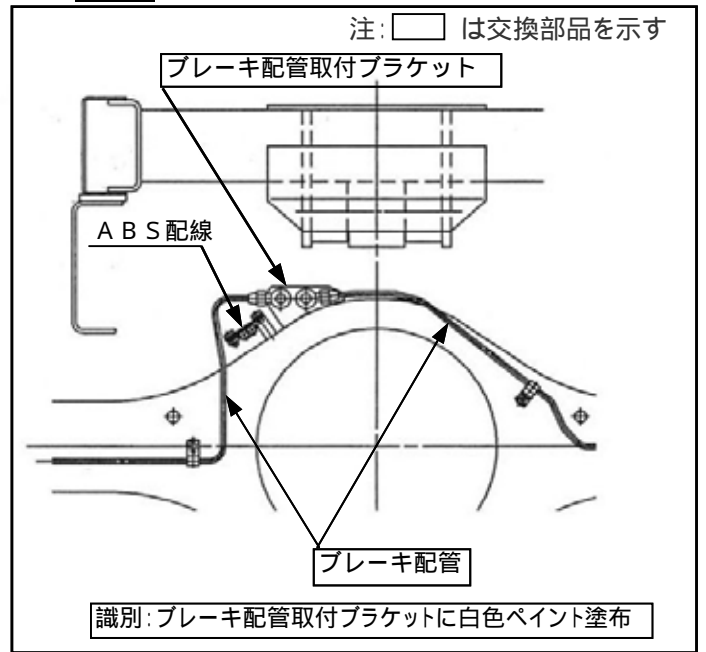


ブレーキ配管及びブレーキ配管取付ブラケットを対策品に交換し、ABS配線の取り回しを変更する。

対策前

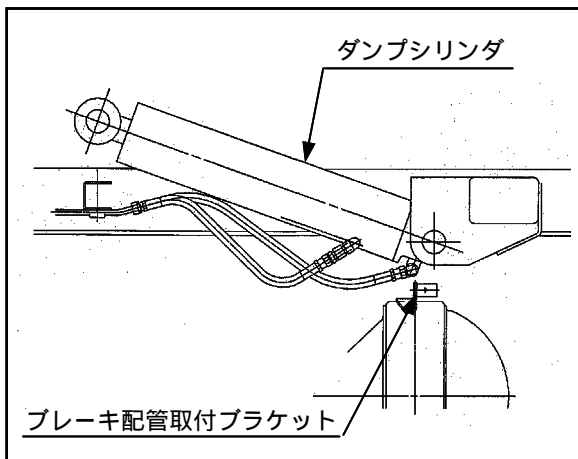


対策後

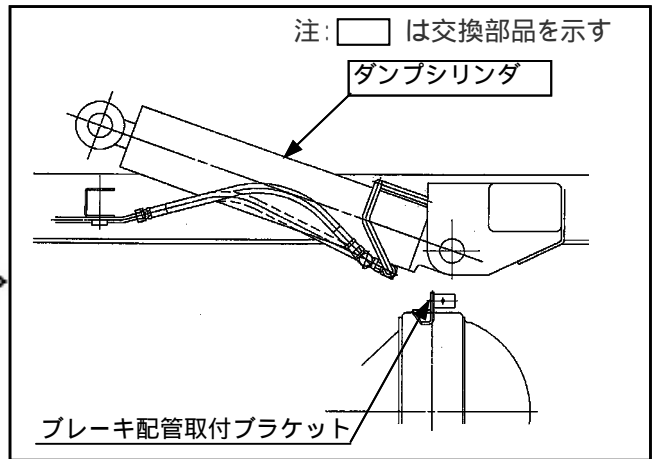


ダンブ装置のシリンダを対策品に交換する。なお、ブレーキ配管又はブレーキ配管取付ブラケットが損傷している場合には、それぞれ新品と交換する。

対策前



対策後



## リコー ル 対 象 車 の 主 要 諸 元

車 名	型 式	通 称 名	種別・用途	車体の形状	原動機の型式(総排気量(cc))	備考
いすゞ	KK-FRR33D4S	フォワード	普通・特種	塵芥車	6HA1(8,220)	
	KK-FRR33E4S				6HH1(8,220)	
	KK-FRR33G4				6HH1(8,220)	
	KK-FRR35C3S				6HL1(7,160)	
	KK-FRR35D3S				6HL1(7,160)	
	KK-FRR35D4				6HL1(7,160)	
	KK-FRR35D4S				6HL1(7,160)	
	KK-FRR35E3S				6HL1(7,160)	
	KK-FRR35E4S				6HL1(7,160)	
	KK-FRR35G4				6HL1(7,160)	
	KK-FRR35H4S				6HL1(7,160)	
	KK-FSR33G4				6HH1(8,220)	
	KK-NRR35C3				6HL1(7,160)	
	KK-NRR35C4				6HL1(7,160)	
	KK-NRR35D3				6HL1(7,160)	
	KK-NRR35E3				6HL1(7,160)	
	KK-NRR35E4				6HL1(7,160)	
	KL-FSR33H4R				6HA1(8,220)	
	PB-FRR35C3S				6HL1(7,160)	
	PB-NRR35C3				6HL1(7,160)	
PB-NRR35E3	6HL1(7,160)					